

再評価実施事業調書

番号	3	事業名	河川事業		路線又は箇所名等		一級河川利根川水系 印旛沼・印旛放水路・長門川		
事業所管課		河川整備課		事業主体		千葉県			
事業化年度	昭和51年度	用地着手年度	昭和51年度	工事着手年度	昭和51年度	工事終了年度	昭和51年度 令和19年度	再評価の理由	再々評価
費用便益比 B/C	5.5 (3.8)	総費用	589億円 (202億円)	総便益	3,273億円 (771億円)	基準年	令和2年度	供用開始年度	令和19年度

※上段：全体事業費 下段（ ）：残事業費

【事業概要】

(目的)

印旛沼は、水面積5.3km²の西印旛沼と6.3km²の北印旛沼から成り、流域面積は541km²と千葉県全面積のおよそ1割を占める。西印旛沼と東京湾は印旛放水路で結ばれ、北印旛沼と利根川は長門川で結ばれる。降雨時、印旛沼の水は基本的に長門川を經由して利根川へ排水するが、それでも排水能力が不足する場合は、さらに印旛放水路を經由して東京湾へ排水する。昭和51年度から河川改修事業に着手し、現在は印旛沼の堤防嵩上げや印旛放水路の橋梁架替を実施しているが、令和元年10月豪雨では、流域において大規模な浸水被害が発生しており、早期に治水安全度の向上を図る必要がある。今回の再評価では、利根川への排水流路となる長門川の改修を新たに追加し、令和3年度から本格的に事業に着手するため、事業費を変更する。

(主な事業内容)

印旛沼	事業延長	L=29,979m	工事内容	築堤、掘削、橋梁
印旛放水路	事業延長	L=10,400m	工事内容	築堤、掘削、護岸、地盤改良、橋梁、堰
長門川	事業延長	L=4,275m	工事内容	築堤、護岸、水門

【事業の進捗状況】(令和2年度末見込み)

	全体計画(億円)	投資事業費(億円)	残事業費(億円)	進捗率(%)
全体	411.2	125.5	285.7	30.5

【社会経済情勢等】

① 流域状況

本流域では、市街化が進展しており、流出量の増大に対応するため、排水能力の向上が重要である。また、氾濫区域には、約1,700人の人口を抱えており、県道等の幹線道路を含んでいることから、水害発生時の社会的影響が大きい。

② 主な水害状況

・平成25年10月(台風26号)	印旛沼	浸水面積	71ha	浸水家屋	2戸
	鹿島川・高崎川	浸水面積	639ha	浸水家屋	102戸
・令和元年10月(集中豪雨)	鹿島川・高崎川	浸水面積	610ha	浸水家屋	73戸

③ 投資効果 [裸書：全体事業、（ ）：残事業]

・浸水戸数 1,061戸(629戸) ・浸水面積 2,700ha(2,673ha)

④ その他

- ・一級河川利根川水系 手賀沼・印旛沼・根木名川圏域 河川整備計画の作成 H19.7.10 (関連事業)
 - ・鹿島川広域河川改修事業(H3~R19)
 - ・高崎川広域河川改修事業(H16~R19)
- (地域の協力体制)
 - ・印旛沼関連事業市町連絡会議

【対応方針(案)】

全体事業の費用対効果(B/C)は5.5(残事業3.8)であり、事業の投資効果が見込めること、また、流域において浸水被害が発生しており、早期に治水安全度の向上を図る必要があることなどから、事業を「継続」する。

事業概要図

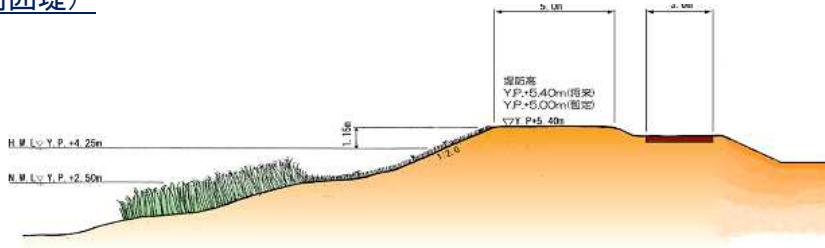
番号	3	事業名	河川事業	路線又は箇所名等	一級河川利根川水系 印旛沼・印旛放水路・長門川
----	---	-----	------	----------	----------------------------

計画平面図

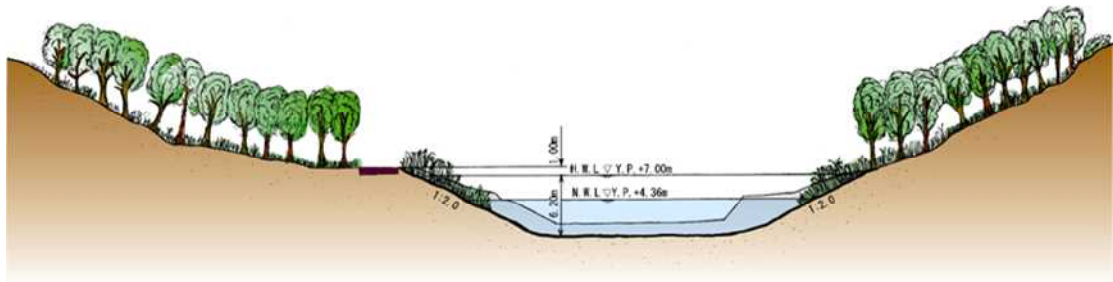


代表断面図

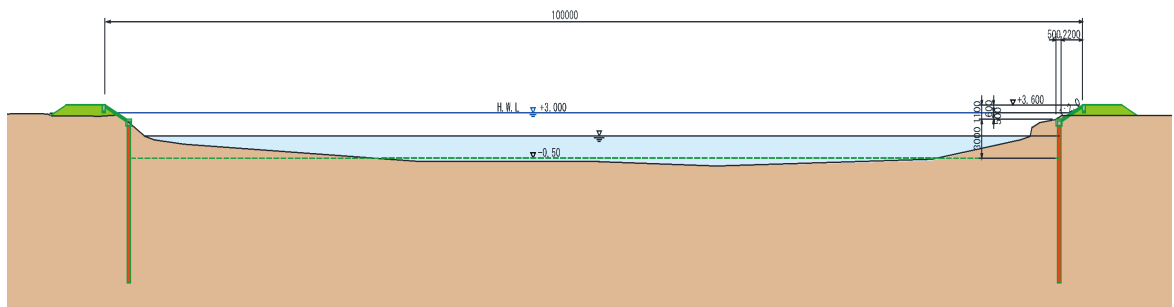
○印旛沼（周囲堤）



○印旛放水路（花島橋～勝田川合流点）



○長門川



再評価事業に関する調書

番号	3	事業名	河川事業	路線又は箇所名等	一級河川利根川水系 印旛沼・印旛放水路・長門川	
事業化年度	昭和 51 年度	用地着手年度	昭和 51 年度	工事着手年度	昭和 51 年度	

【再評価 (H28 年度) の概要】

再評価実施年度 (基準年)	平成 28 年度	供用開始年度	平成 49 年度 (令和 19 年度)	対応方針	継続
B/C	4.4 [3.4]	総費用	489 億円 [190 億円]	総便益	2,171 億円 [644 億円]

(※上段：全体事業、下段：[]：残事業)

再評価時の委員会の意見及び当時の状況
○継続することが妥当である。

再評価時の進捗状況及び再評価時想定の 5 年後の進捗状況

	計 画	進捗状況 (H27)	5 年後の推定進捗状況
事業費	367.2 億円	110.2 億円 (30.0%)	160.5 億円 (43.7%)
うち用地・補償費	90.8 億円	45.7 億円 (50.3%)	54.6 億円 (60.1%)
うち工事費	242.3 億円	46.2 億円 (19.1%)	84.4 億円 (34.8%)

【再々評価 (R2 年度) の概要】

再評価実施年度 (基準年)	令和 2 年度	供用開始年度	令和 19 年度	対応方針	継続
B/C	5.5 [3.8]	総費用	589 億円 [202 億円]	総便益	3,273 億円 [771 億円]

(※上段：全体事業、下段：[]：残事業)

現在の進捗状況

	計 画	進捗状況 (令和 2 年度)
事業費	411.2 億円	125.5 億円 (30.5%)
うち用地・補償費	94.8 億円	45.7 億円 (48.2%)
うち工事費	276.3 億円	56.7 億円 (20.5%)

再評価後の
経過
及び
処理状況

平成 28 年 12 月 千葉県 県土整備公共事業評価審議会 再々評価
(継続が妥当である)